

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームすかい
(ユニット名)	藤
所在地 (県・市町名)	静岡県伊東市
記入者名 (管理者)	伊東 良子
記入日	平成 20 年 10 月 12 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>開設時より、独自の運営理念を作成し、その説明と常に職員が確認出来るようスタッフルームに掲示し、理念に基づく介護サービスの提供出来るよう周知徹底を図っている。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念に基づく介護実践の視点での現場指導、意見交換等を常時行い、認識の統一に取り組んでいる。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>出来る限り在宅生活と同様な生活の継続の大切さを説明し、面会時間の制限のないことで面会が来れやすい環境作り、家族との外出、外泊の自由、外出援助による地域交流を図っている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩中の挨拶、会話や夏の恒例ガーデンバーベキュー招待、又はフェンス越しの会話など、ホームをより知っていただき、入居者のホームでの生活様子を出来るだけ知っていたけよう取り計らっている。時には散歩中に立ち寄り入居者と一緒にお茶やカラオケを楽しんでいただく時もある。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>別荘地域に隣接しており、土地柄自治会はないが、他の福祉施設の納涼祭恒例参加や、地域包括主催のコミュニティセンターでのイベント参加、学校運動会見学、外食、公共交通機関利用による外出、見学、面会等の快い受け入れ等積極的に行っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在まで行われていないが、今後の支援に取り組んでいきたい。	○	入居相談訪問のご家族より、在宅介護現状諸問題の悩み事を話されることが多くそのような場合よく話を聞き、アドバイスを行っている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各職員が評価項目の確認と記載をすることで、よりグループホーム運営理解が深まる点もあり、今後のケアサービスにより深い認識をもって取組、邁進できると捉えている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現時点では、運営内容説明が主であり、質問、意見等の確認程度に留まっている。ホーム主体的となっており、今後外部の視点での意見などが積極的に聞かれ、サービス向上につながる会議となれたらと努力していきたい。仕事を持っていたり、用事が重なったりという理由で参加者の日程調整が困難である。	○	
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話又は窓口訪問により相談確認を行っているが、担当職員が訪問することはなく、運営推進会議においても、地域包括職員の参加が、市の担当者代行となっているのが現状とされている。事業者としては運営内容の実態確認の状況を踏まえた指導を行っていただけるなど平行目線での相談援助、アドバイスを希望したい。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は、講習受講を行っている。現実には制度利用対象者が今までにはなく、制度についての全体勉強会は行っていない。職員の講習受講も必要と捉えるが、定着職員確保困難状況もあり今後の課題として総合的入居者支援を踏まえ、必要と考える。	○	
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての資料確認状況にあるが、運営理念でもある入居者主体のケアサービス提供に努めており、言葉のかけ方、目線、表情(笑顔)等、基本姿勢についてもお互いが注意を払っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に基づき入居時説明を行っている。退居時にはその状態説明や家族の意向等の確認話し合いを重ね、退居後の生活に向けたサービス援助を行っており、納得理解を得ている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	自ら訴えられる入居者は少なく、日常の表情、行動等の様子変化等の観察に努め、その背景の考察による判断対応や、又訴えがある場合はよく内容を聞き、必要サービス提供を行っている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	各個人にご家族へのお便り発行を毎月行っており、1ヶ月間の生活の様子を健康面とその対応内容の報告を含め行っている。又個人ごずかい預り金については、各人の出納帳のコピーとレシートを添え送付により、使途内容や残金確認報告している。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情等の相談窓口、施設担当者の契約書記載、ホーム内ボスターの掲示、苦情ポストの設置を行っているが、現在までに於いては苦情等の意見はないが、面会時、家族会等のなかにおいても、積極的にそのような状況がないか伺い確認を繰り返し行っている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議や、折々に意見等の確認を行っている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	合同行事や、外出支援等の際には、より多くのスタッフ確保必要状況から、パート職員、公休職員の応援等状況による調整介護を行っている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	自己都合による退職時においては、入居者の精神的負担感の軽減を考慮し全体的には伝えていない。結婚や、出産等の喜ばしい状況退職時は其のことを伝え、皆で祝ってあげられるよう伝えている。今後もこのような計らいで良いか課題ではある。	○

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修内容により、中間管理者等に位置する者の可能な限り機会をつくっていたが、研修後の離職状況等も多く、苦慮している。費用等のこともあり、しかし全体職員のスキルアップの計らいのため、施設内研修開催を始めた。定着職員へは、施設外研修への積極的な参加を検討実践している。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	部会における施設見学廻りの参加以外にも今後は、施設間交流研修の積極的な取り入れ計らいを進めていきたい。受け入れ研修は最近1度行った。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会を年に何回か行っている。他にスポーツサークル等の活動要望があるば助成する意向を伝えているが、実行はない。	○
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各個別面談や、全体指導の場においては、意見や要望の確認を行っているが、各職員が、率直な意見や、要望が表出されてはしないと痛感している。より活発な意見交換の出易い現場、意欲向上心をもって働きやすい職場作り、努力していきたい。	○
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	認知症状の程度状況確認前に、不安や求めている事を確認は困難が多いが、ほとんどは相談家族中心に行っている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申込時、入居時の入居希望に至る諸事情、についてよく状況を聞いている。ご家族のニーズには出来る限り応えられるよう、不可能の事項についてはその時点でよく説明し同意をえるようにしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	上記同様。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望を前提とする相談者には、可能な限り施設見学の時点で本人にも来所していただき、施設の案内や他の入居者との交わりが出来るような配慮をし、本人の様子を確認する等は行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活維持のための、掃除や洗濯始末、調理、花の水やり、野菜作りや、収穫等出来る能力に合わせて共に行ったり、昔の地域の習慣や、それぞれの入居者の経験などの話を聞いたししている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームでの面会時、その時折折のアルバムを一緒に見ながら状況の会話等したり、家族が中心になり入居者に紙芝居や墨絵などを行っていただいたり、カラオケに参加していただくなど、ご家族と共に築く運営を目指している。年間行事のバーベキュー、餅つき等にも参加されている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	出来るだけ面会回数が増えるよう働きかけ、それまでの親子関係より、ホームに入居されてからの関係が良くなった人、入浴拒否介助困難者の家族協力による入浴支援、外食、ドライブ、自宅外出等常に家と共に行う生活支援を行っている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅時の特に親しく交流のあった友達、親戚、近所の友人等の面会を快く受け入れ度々面会に見えている。また、スーパーや病院受診時に顔なじみの方との再会時には、出来るだけ会話が出来るよう配慮支援をしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気のあう友達関係が出来ている利用者には、その関係がより良く継続できるよう、外出時は一緒に、部屋の行き来にて談話には、その雰囲気づくり等のさりげない支援をする。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご家族や、入居中に交流のあった方々と偶然会う機会時には、気軽な挨拶やその後のホームの様子を伝える程度である。今後の方向も現時点では、機能的にも同様と考える。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各入居者の意向を尊重し、それぞれの生活希望に合わせている。時には自分の部屋ではなく、ソファで朝まで寝る人、テレビ番組内容によっては、10時までテレビを見る人等。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式に準じたアセスメントを作成しているが、十分とはいえ、今後の方向性の課題点もあり、検討内容あり。	○	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	それぞれの勤務時間帯による申し送り、記録の確認、カンファレンス等を踏まえ日々の変化も踏まえた上で、個別のケア視点を大切にされた対応を行っているが、マンパワーの勤務状況にもより、十分な対応とは言えない状況もあり、更に検討努力したい。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスによる、職員意見の確認、面会時のご家族の意向、要望の確認等を繰り返しながら介護計画作成を行っているが、計画が実行に伴わない事もあり、より介護計画が現場に生かされるよう、努力をする体制、工夫が必要であると考えている。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間、変化に応じた計画変更が順調になされていない。計画作成者の変更や、介護実践が先となり、計画が後追いとなることもあるが、カンファレンスや申し送り等による情報の共有はおこなっている。介護計画が順調に進むよう努める意向である。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各記録の整理されている。又介護計画作成時には、それまでの記録内容も踏まえ作成に臨んでいる。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	それぞれの家族背景を十分に踏まえ、状況に合わせた対応を行っている。受診の際の援助、個別買い物支援、自宅外出時送迎支援など。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	小学校運動会見学、子供の遊び訪問、家族ボランティア、納涼祭参加等実行しているが、今後もより多くの地域活動参加に臨みたい。	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域包括主催、コミュニティーに於ける、地域サロン参加により地域在住同世代の交流支援を行っている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターに於ける、地域会議参加。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望があれば家族協力も兼ね、希望どりの診察が受けられるよう執り行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ家族と相談の上、専門医受診支援を行い、結果入院となった事例もある。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護婦雇用、訪問看護ステーション契約により執り行っている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	各入院先相談員と連絡を取り合い、入院中の情報も踏まえながら、退院指導と同時に受け入れている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	原因不明出血、発熱等、ご家族への症状報告、面会確認等重ねながら、受診介助や、内服、点滴治療をしホームでの回復にむけた総合的介護の結果回復されている。又骨折により入院加療が必要としながらも、入院による極度の混乱により、ホーム生活継続により自然治癒、それまでの以前とかわらない生活に戻っているひともある。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	状態変化に対する対応を踏まえながら、現時点での総合的判断で可能な限り対応に努めている。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	在宅復帰の場合は、地域包括センターとの情報提供、入院等に於いては、相談員との情報提供を行うなど、退去後の入居者生活に通じる支援を行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊厳ある対応の中で、言葉遣いも最も大切なコミュニケーションとしているが、親しみ感のあまり幼児言葉で話してしまったり、時にはなあなあな言葉使いにならないよう、注意配慮しケアを行っている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	言いたい事が言えるホームの運営を目指している。対応不可能状態に於いては、個人の理解能力に合わせた説明に努め納得できるようケアをしている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の全体の様子を踏まえながら、可能な限りの個別ケア対応に努めている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	地域的環境状況もあり、全員の希望には添えられず、月1回の訪問美容室利用となっているが、中には近所のかかりつけ理髪店利用支援も行っている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	機能、能力、希望に合わせ、野菜の下準備、胡麻すり、等の料理下準備一部や、食後の食器洗い等、又誕生会等ではケーキデコレーション等、楽しく行える雰囲気を作りながら一緒に行っている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	契約書にもうたっており、それまでの生活の継続支援を目指すため望むばあいは、希望に沿い支援している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表の確認のもと、個別排泄支援、出来る限りのトイレ排泄援助、介助時の羞恥心負担感軽減の配慮とする露出部掛物使用等、ケアを受ける側の気持ちに立ち支援している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	以前は就寝前の夜間入浴を取り入れていたが、入居者の全体レベル低下に伴い、又マンパワーの状況により、現在午後の2時から4時までの間の入浴となっている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各人の生活習慣に踏まえ、その時どきの体調も考慮しながら、本人希望を主に対応。又場所は自室と特定せず、時には共有部分ソファ、和室だったり、希望状況にあわせ、柔軟対応をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その時々で、各人の得意とすること、好むことを見極め、それぞれの場面で満足できる生活が持てるよう支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	方針としては、ご家族より預かりのこずかいから個別支払管理をおこなっているが、それまでの暮らしの継続支援も考慮し、希望があればある程度の所持可能としている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	閉じ込めないケアを運営方針としており、可能な限り散歩、ドライブ、外食、中庭散策、地域イベント参加等の支援に努めている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	電車利用による、ミニ旅行外出等の支援をしている。又個人の希望の把握に努め、家族援助による自宅外泊や個別買い物支援なども、積極的に支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望する場合は、取次のケアによるが家族との電話交信取り計らい援助している。又家族からのお便りに対し、返事を出す等の生活活性に向けた支援も行っている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者が多く、それぞれの状況で希望に合わせた対応をしている。共有部分での交えた団欒、居室での会話一緒のお茶やカラオケ、時には一緒にの食事等、快く面会ができるよう柔軟に対応し、面会機会が多くなるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束の内容を周知徹底し、いかなる状況下においても、行ってはいけない方針のもと、実行している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	認知症対応の基本的介護知識指導のもと、出来る限り行動制限しない運営方針で、夜間以外の時間帯は建物一切施錠していない。しかし、2階建て構造の2階部分にあり、エレベーター利用により戸外に出る環境にあり、認知症レベルによっては閉鎖的感覚も感じることを捉え、一緒に戸外に出る支援に努めている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各人の状況、状態に合わせ、ドアノックし入室、声掛けし入室する等入居者サイドの気持ちに立ち、特に夜間巡視訪問時など、配慮ケアしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	鉢植え植物、生け花など、異食行為者現在なく設置している。他の状況においても同様に、収集癖入居者がいる場合の環境整備、感情失禁、興奮になり易い、暴力行為、荷物移動等他様状況にその時々により対応をしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	それぞれの機能状態を見極め、その状態に対しての危険リスクを考慮しケアプラン、カンファレンスによって認識統一、ケアを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	開設準備段階において、スタッフ全員が消防署主催の救命救急対応講習を受講しているが、以降においては、状況対応による指導をそのつど繰り返している。マニュアルにより常時確認できる状況にあり、職員は確認されている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な避難訓練、消火訓練、緊急連絡網による連絡訓練等を行うと同時に、行方不明発生時、緊急時等のマニュアル作成によりスタッフ指導している。	○	別荘地隣接地にあり、日頃の交流はあっても、協力体制までは整備されていない。今後検討したい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	施設運営理念に基づいた生活の意義を契約時、又は機能変化に伴う予想リスクについての状況説明と同時に生活の意義や価値観について話し合いや、家族意向確認のもと、できる限り自由生活支援を行う。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送り、日報、カンファレンス等を活かしながら、日々の様子変化観察に注意し、初期状態、日中対応に努めることで、できる限り増悪状態とならないよう対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各人の薬手帳に処方内容シールを貼り、同時に処方時の薬内容説明書をその都度保管により状況によりいつでも職員が確認できるよう整理している。又内容変更時には、個人記録記載とその申し送りによって、状況によってはその後の状態変化把握などの周知徹底に努めている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜摂取の奨励、朝起床後の牛乳摂取、散歩等の運動、トイレ排泄による自然排便の促しなどに努めている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床後、毎食事後の口腔ケアを日課とし、それぞれの状況に応じたケアを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食品摂取バランスを考え、メニュー作成者は前の献立を参考にしながら作成し、又、糖尿病や肥満、機能低下による運動量低下者、体調不時等その状況、状態に合わせて、柔軟な対応を行っている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	研修会の参加や、資料確認等情報の共有化職員の知識取得に努め、それぞれ感染症予防マニュアル作成し、周知徹底を図っている。と同時に普段の生活環境衛生管理も考慮した業務マニュアルとし、日常業務の中で感染予防出来るよう配慮している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品の取り扱い、台所器具食器等の消毒管理の徹底を図っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	広い中庭には芝生を植え、藤棚による日陰作り、周囲には草花や畑を皆でづくり、それぞれの段階での楽しみある環境づくり、ベンチを置き休息したり、お茶や食事を楽しんだりと建物周囲の環境を整え、思い思いの楽しみ方、ゆったりと過ごせる空間づくりをしている。近所の住人との声の掛け合いも生まれている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	遮光カーテン、ブラインド、遮光テントなどの利用により、気温調節を配慮し、又、台所から生ずる不快音に注意しながら、業務するなどマニュアルにも取り入れ、全員が共通認識を持ちと		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファ設置、リビングテーブル、テレビ前ソファ等それぞれが思い思いの生活出来るよう工夫。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	できる限り馴染みの環境づくりをすることの意義を伝え家族など可能な限り使い慣れた家具類の搬入による環境づくりを行っている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度計の設置や、共有部分、各居室に換気扇の設置、エアコン設置あり、臭気や室温等状況対応に努めている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手摺の設置により出来るだけ歩行移動、トイレ排泄、入浴等できる限り自立できるよう配慮。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室のクロス模様の個別、浴室やトイレ水周りのドアと各居室ドアの色変え、夜間トイレ前電灯の設置により点灯による場所の認識等できるだけ入居早期に生活空間が構造上でも認識しやすい工夫をしており、場所の失検討識予防となっている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	スロープ利用により、中庭利用がしやすい構造、ウッドデッキ、各所にイス、テーブルの設置、藤棚利用による涼しめる工夫など、自由に楽しめる空間設定をしている。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
		○	③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)